

標 題 : Adherence to the Mediterranean diet and gastric cancer risk in Italy
イタリアにおける地中海食事の順守と胃がんのリスク

著 者 : D. Praud, et al. (イタリア ミラノ IRCCS · Istituto di Ricerche
Farmacologiche 'Mario Negri' 疫学部 ;
ミラノ大学 臨床科学 · 地域医療学部)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 134: 2935–2941 (2014)

要 旨 :

胃がんのリスクを地中海食事の順守との関連で、イタリアで1985から2007年
の間に組織学的に確認された胃がん発症999件および急性の非腫瘍性疾患で入院
した対照2,628件によって実施された2件の症例-対照研究からのデータを用い
て、我々は調べた。

地中海食事の順守を、全体のデータセット中で9つの地中海食事の主な特徴に
基づいた地中海食事スコア(MDS)を用いて評価した。

地中海食事パターン順守指数(MDP)および地中海妥当性指数(MAI)を、2番目の
研究でだけ考慮した。

胃がんリスクのオッズ比(OR)および対応する95%信頼区間(CI)を、3種類の
スコアの段階について多重ロジスティック回帰モデルを用いて、我々は推計した。

地中海食事スコア(MDS)値の上昇による胃がんリスクの低下を我々は見いだし
た ; MDS 最低段階の被験者と比較して MDS 値の後続の段階で OR は 0.78、0.61
および 0.57 で、リスクに有意な動向があった。

リスク推計は、年齢、性別、教育、喫煙、BMI、および胃がんの家族歴の階層
にわたって一貫していた。

MDP および MAI の最高 対 最低(5 段階)で OR がそれぞれ 0.58 および 0.71 の
胃がんリスク低下も、我々は観察した。

胃がんに対する地中海食事の有意な役割の説得力のある証拠を、我々の研究が
提出する。

キーワード : 患者-症例、地中海食事、胃がん、危険因子
